

四輪車400万台突破

スズキは21日、日本国内と海外を合わせた四輪車の世界累計販売台数が今年6月までに4千万台を突破したと発表した。1955年10月に軽自動車「スズライト」を発売して以来、53年8カ月で達成した。

4千万台のうち国内販売は1966万6千台（内訳は軽自動車1828万2千台、登録車138万4千台）。海外販売は2035万5千台。

国内では軽四輪車の「フロント」「キャリア」「ジムニー」「セルボ」「アルト」「ワゴンR」などを生産して軽自動車

開発中の電気自動車など「環境」をテーマに各企業が新技術を発表したフェア＝浜松市東区の市総合産業展示館



環境テーマに ビジネス創出

エコカーなど注目

浜松で
フェア開幕

浜松商工会議所と浜松信用金庫主催の「第3回ビジネスマッチングフェアin浜松2009」静岡新聞社・静岡放送後援)が21日、浜松市東区の市総合産業展示館で開幕した。「環境」をテーマに、県西部地域などの企業や産業支援機関、大学など193団体が、新製品や技術の研究成果を発表した。22日まで。ビジネスチャンスの創

出を目指し、輸送機環境技術、新エネルギー、二酸化炭素削減、緑化など幅広い分野で各企業・団体がブースを連ねた。風力発電設備開発のグローバルエナジー(東京都は、微風状態で出力できる垂直軸2枚羽の大型風車を展示し、浜松市出身の鈴木修二社長は浜松の企業と協力し、浜松の風力発電技術を出してきた)と意気込ん

だ。同市中区の日研化成は、レジ袋を再生した壁面緑化専用ネットを紹介。首都圏の公的施設で多く使用されていて、担当者「静岡県内でも壁面緑化がもっと広がれば」と期待した。自動車メーカーなどのハイブリッド自動車や開発中の電気自動車も披露され、来場者の注目を集めた。三遠南信地域の企業展示もあり、広域連携をテーマにした若手経営者によるシンポジウムも行われた。

原付2種スクーター(51〜125cc)市場は年間9万台の新車需要があり(同社調べ)、都市部を中心に「コンパクトで経済的なモデルが欲しい」というニーズに

新型スクーター発表

ヤマハ 通勤者をターゲット
電動機

切りに1965年から販売し、その後も世界戦略車の「エスクード」「スイフト」「SX4」「スプラッシュ」などを展開している。

海外ではインド、ハンガリー、インドネシアなど14カ国・地域に15の四

ヤマハ電動機は21日、都市部の通勤者などをターゲットにした125ccスクーターの新製品「ア

クシス トリートXC125E」を発表した。8月25日から発売する。「通勤快速コンパクト

125」をコンセプトにした。同社の125ccスクーター「シグナスX」より全長が100㎜短い通勤や市街地走行に適したサイズで、軽量で扱いやすいのが特徴。環境性能、経済性に優れた4ストロークFIEエンジンを搭載し、A4判ファイルが納まるヘルメットボックス、500㎖ペットボトルが2本入るインナーポケットを装備した。

た。年間1売を計画しカー小売希500円。

政経
プラザ

金のほか基金も充書き入れ元気にし込める。

株式
ヨシコ

役員で、株の1・18%株を上限にヤスタック市場買い付決めた。

資本効率経営実践とが主な目的間は同日か

で。取得総万円を上

